

科目番号	59006	分類	専門科目 地域環境保健学	履修者	看護学研究科博士課程	学年				
科目名	精神保健学 (Mental Health Science)					1				
						配当セスター				
						通年				
担当者	田中 留伊			区分	選択	単 位	2	時 間 数	30	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連				
【概要】 精神保健医療福祉に関する最新の知見を整理した上で、わが国の精神保健・精神看護学の現状や問題を理解し、精神保健や精神看護実践が向上するための具体的なアプローチについて学ぶ。						○	1. 看護学の継承・発展を図るための研究能力			
						○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する形成能力			
						○	3. 地域社会の保健ニーズに応じた体系的な研究教育能力			
【目標】 1.精神保健医療福祉に関する科学的知見の現状を理解する。 2.精神保健・精神看護学に関する今日的課題を把握する。 3.精神保健や精神看護実践が向上するための具体的なアプローチを習得する。						○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力			
						○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を行う事ができる能力			
						○	6. 実践を行うなかから若手学生の臨床実習を指導できる能力			
授 業 計 画										
回	内 容								担当教員	
第1回	精神保健医療福祉の現状と課題								田中	
第2回	精神保健・精神看護学の現状と課題									
第3回	精神保健・精神看護学の考え方									
第4～15回	抄読会 ①文献抄読 <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神医療 ・ 精神保健 ・ 精神看護学 ・ アディクション看護や司法精神医学等 に関する文献 ②15分レクチャー 特定の課題について15分間でプレゼンテーションし、ディスカッションを行う								田中	
事前・事後学習	事前学習：精神保健医療福祉の現状や政策について理解しておくこと。 事後学習：精神保健・精神看護学に対する自らの考えを明確にし、看護職としての役割を考慮し、これを実践できるように努めること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み込むこと。									
評価の方法	抄読会への出席状況および文献抄読および15分レクチャーの内容・プレゼンテーションにより評価する。また、フィードバックは適宜行う。									
参考図書・資料等	随時参考資料を提示する。									
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。									